令和２年度　野生動物救護実績について

自然環境保全センター（厚木市七沢）では、県民の皆様によって救護され、運び込まれた傷病鳥獣（傷ついたり弱ったりしている野生の鳥類や哺乳類）を収容して治療し、野生に返す（放鳥、放獣）仕事を行っています。
令和２年度の野生動物救護の実績をお知らせします。

１　令和２年度の鳥類・哺乳類救護状況

区　分	種　　類	頭、羽	割　合（%）
鳥　類	50	280	85.4
哺乳類	5	44	14.6
合　計	55	324	100

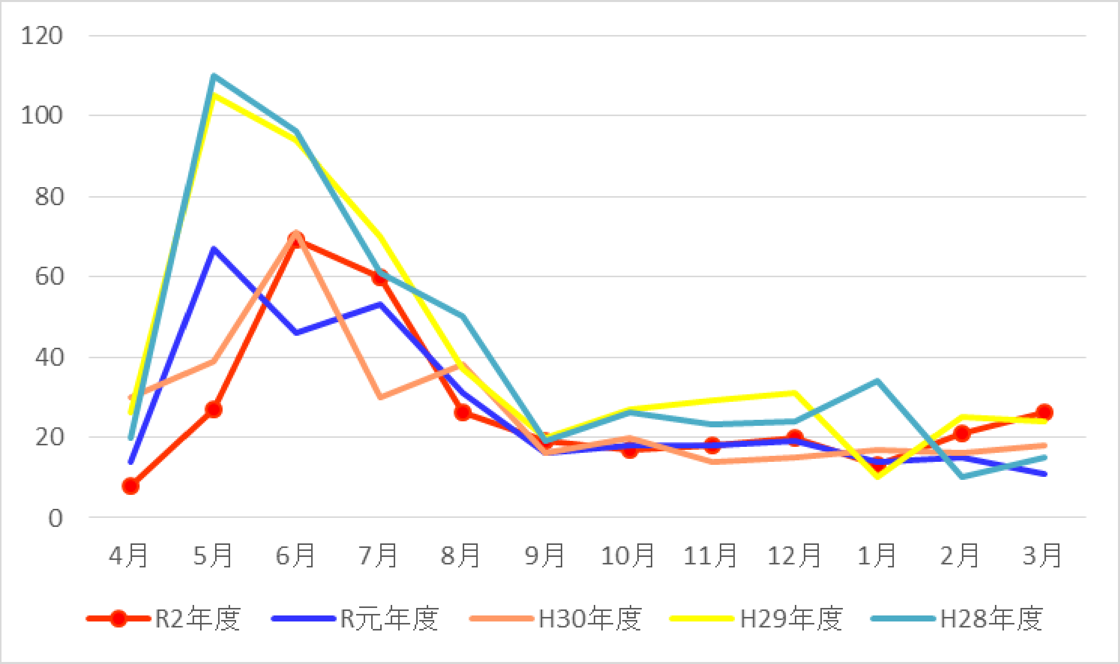
参考（過去５ヵ年の救護状況）

（1）　年度別救護数

年度別	令和2年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度	
鳥　類	280	(22)	275	(23)	284	(23)	445	(15)	436	(35)
哺乳類	44	(3)	47	(2)	40	(2)	53	(3)	53	(5)
計	324	(25)	322	(25)	324	(25)	498	(18)	489	(40)

＊（）はへい死体で持ち込まれたもので、内数

（2）　月別救護点数



(3)　救護数上位 10 種

年度別	令和2年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	種　名	頭、羽	種　名	頭、羽	種　名	頭、羽	種　名	頭、羽	種　名	頭、羽
1	ツバメ	33	ツバメ	45	ツバメ	49	スズメ	70	スズメ	81
2	スズメ	33	タヌキ	37	スズメ	43	ツバメ	64	ツバメ	63
3	キジバト	29	キジバト	29	タヌキ	33	タヌキ	35	ムクドリ	45
4	ムクドリ	26	スズメ	29	キジバト	30	キジバト	35	タヌキ	30
5	シジュウカラ	24	シジュウカラ	17	ムクドリ	20	ムクドリ	28	ヒヨドリ	28
6	タヌキ	23	ヒヨドリ	15	ヒヨドリ	18	カルガモ	27	キジバト	27
7	アブラコウモリ	17	カルガモ	14	メジロ	11	ヒヨドリ	22	シジュウカラ	20
8	ヒヨドリ	16	メジロ	14	トビ	8	イワツバメ	12	カルガモ	19
9	メジロ	14	ムクドリ	14	モズ	7	トビ	10	ハクセキレイ	16
10	トビ	7	フクロウ	8	シジュウカラ	7	コシジロウミツバメ	9	メジロ	16
					アオバト	7	メジロ	9		

(4)　放野率・死亡率（%）

	令和2年度			令和元年度			平成30年度			平成29年度			平成28年度		
	放野	死亡	その他	放野	死亡	その他	放野	死亡	その他	放野	死亡	その他	放野	死亡	その他
鳥　類	41.1	45.7	13.2	54.4	40.1	5.6	44.4	46.8	8.8	29.5	61.9	8.6	37.7	54.1	8.2
哺乳類	47.4	50.0	2.6	24.4	53.3	22.2	39.5	13.2	47.4	36.0	42.0	22.0	34.1	47.7	18.2
全　体	41.9	46.3	11.8	49.8	42.1	8.1	42.1	45.5	12.4	30.2	59.8	10.0	36.7	53.2	10.0

*各年度の 3 月 31 日時点（へい死体除く）

*その他は治療中・終生飼養・長期飼養に移管したものなどを含む。

2　令和２年度の特徴

全体の救護原因として建物への衝突などといった、主に人間が関わっている救護原因は 54.0% です。

＊　2020 年４月 17 日～6 月１日　新型コロナウィルスをめぐる社会情勢により神奈川県自然環境保全センターでの傷病鳥獣救護新規受入れを休止しました。

＊＊　2020 年 11 月 1 日～当面の間　高病原性鳥インフルエンザ感染予防の観点から横浜市立動物園では鳥類の受入れを見合わせています。

＊＊＊　2020 年 12 月 26 日～当面の間　高病原性鳥インフルエンザ感染予防の観点から川崎市夢見ヶ崎動物公園で鳥類の受入れを休止しています。

（鳥　類）

・スズメ、ツバメ、ムクドリ、カルガモなど人間の近くで繁殖・生活している種類が上位を占めています。
・珍しい例としては令和 2 年 11 月にオオカワラヒワ（カワラヒワの亜種）、令和 3 年 2 月にウミアイサ（初事例）が保護されました。

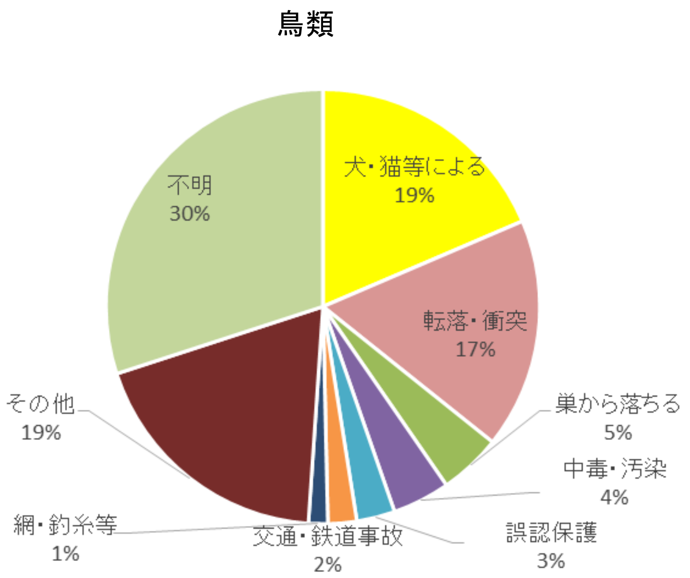
オオカワラヒワ

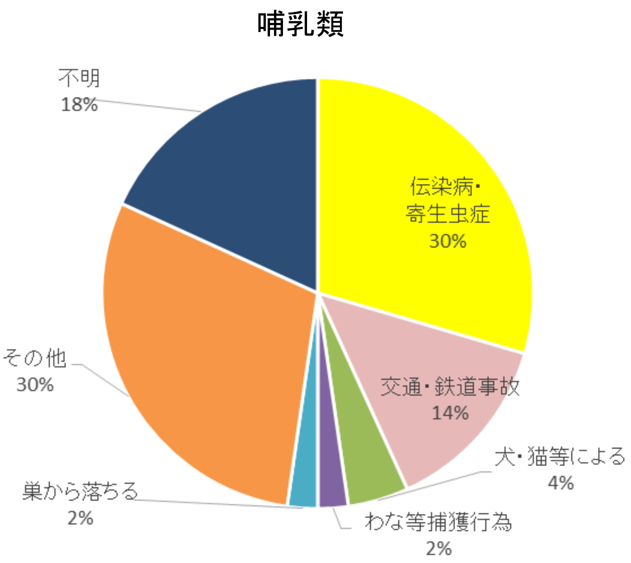
ウミアイサ

（哺乳類）

・令和 2 年 9 月にイタチが保護されました。

参考（令和 2 年度の保護原因）





3　ボランティアの活動

・当センターには野生動物の飼養や治療・リハビリの補助、環境教育や普及啓発活動等を行っている多くの野生動物救護ボランティアの方々がいらっしゃいます。

・野生動物救護ボランティアには一般ボランティア（注 1）、短期飼養ボランティア（注 2）および長期飼養ボランティア（注 3）があります。令和 2 年度の一般ボランティアの活動人数は年間延べ 690 人で、毎年多くの方々にご参加いただいています。また、長期飼養ボランティアに飼養を新たに依頼した野生動物の数は 3 件になります。

注 1　一般ボランティア

当センターに保護されている鳥獣のお世話や救護動物特別公開などの普及啓発活動を行っていただいております。

注 2　短期飼養ボランティア

主に、毎年 5 月から 8 月くらいまでの間、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリなど主に巣立ち前の野鳥のヒナ等のお世話やすぐに放鳥・放獣できない動物のリハビリ訓練などを行っていただいております。

注 3　長期飼養ボランティア

翼が折れているなどの理由により野生に返せない鳥獣を、生涯にわたり飼養を行っていただいております。

参考（過去 5 年間のボランティア活動状況）

(1)　ボランティア登録状況

（人）

年度別	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
ボランティア登録数	146	191	228	254	259

*ボランティア登録数は、各年度の 3 月 31 日現在

(2)　一般ボランティアの年度別活動状況

（延べ人数）

年度別	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
活動延べ人数	690	1,083	1,185	1，217	1,132

(3)　ボランティアへの飼養依頼

（件）

年度別		令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
鳥　類	短　期	0	1	1	0	0
	長　期	3	1	3	5	0
哺乳類	短　期	0	0	0	0	1
	長　期	0	0	0	0	1
合　計	短　期	0	1	1	0	1
	長　期	3	1	3	5	1
総　計		3	2	4	5	2

*各年度新たに依頼した分のみ掲載